

2025年3月期 決算説明資料

(2024年4月1日～2025年3月31日)

株式会社 精工技研

2025年5月16日

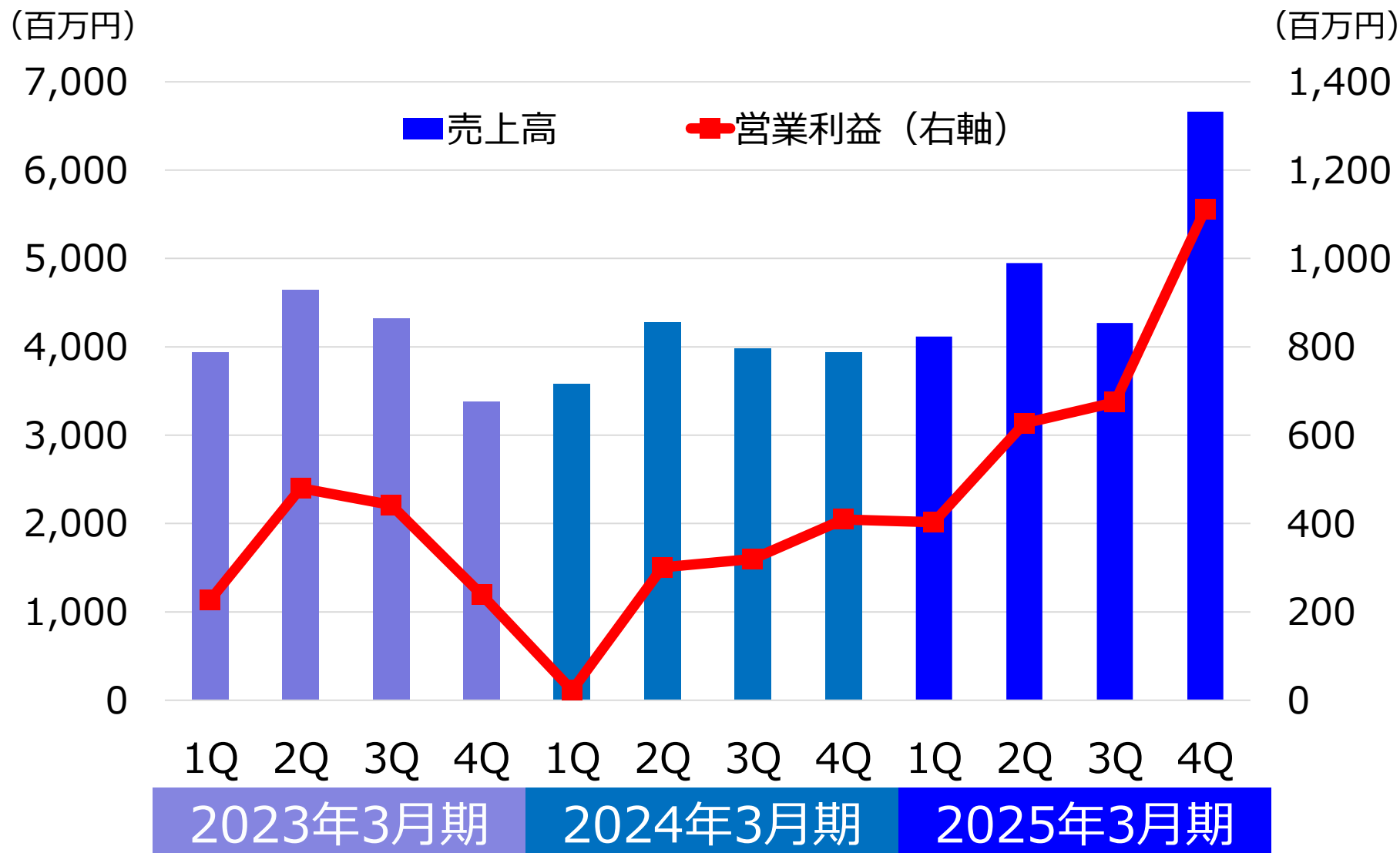
- I. 2025年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2026年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

- I . 2025年3月期 連結決算概要
- II . 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III . 2026年3月期 連結業績見通し
- IV . 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

2025年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2025年3月期	2024年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2024/11/11)
売上高	19,982	15,785	26.6%	18,000
精機部門	9,200	8,716	5.6%	8,800
光製品部門	10,782	7,069	52.5%	9,200
営業利益	2,817	1,052	167.7%	2,000
経常利益	2,979	1,269	134.7%	2,050
当期純利益	2,225	761	192.4%	1,500

連結損益 四半期推移



2025年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2025年3月期	2024年3月期	対前期増減率
受注高	21,380	15,992	+ 33.7%
受注残	4,384	2,778	+ 57.8%
設備投資	598	388	+54.0%
減価償却費	944	973	△3.0%
研究開発費	500	459	+8.9%

精機部門／主要製品・主要技術

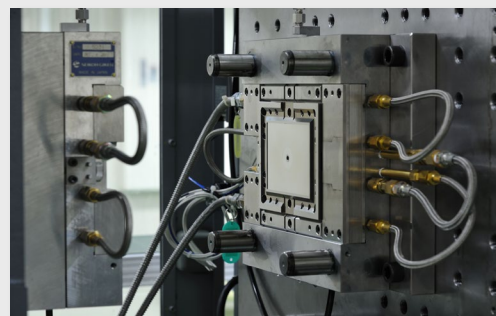
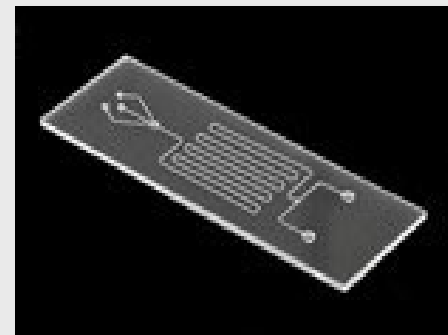
◆ 成形品

車載用インサート成形品

樹脂射出成形品

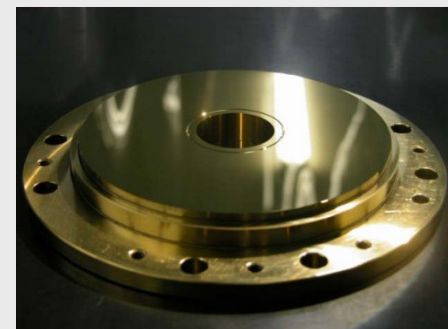
二色成形品

金属プレス成形品 等



◆ 金型

各種精密金型



◆ その他

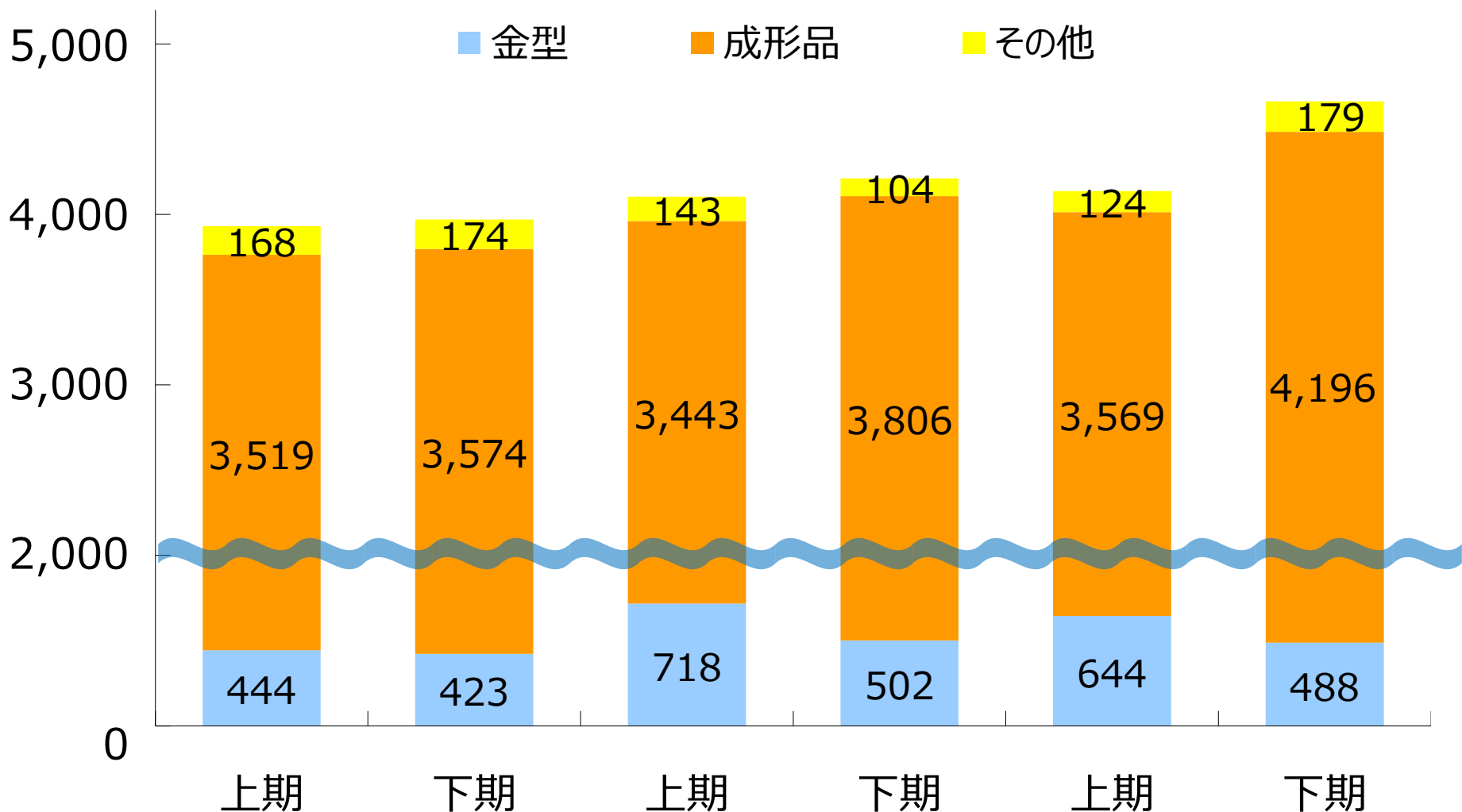
精密金属加工部品 等

精機部門／セグメント業績

(百万円)	2025年3月期	2024年3月期	対前期増減率
売上高	9,200	8,716	+5.6%
営業費用	8,612	8,052	+7.0%
営業利益	588	664	△11.5%
営業利益率	6.4%	7.6%	△1.2%

精機部門／製品別売上高

百万円



2023年3月期

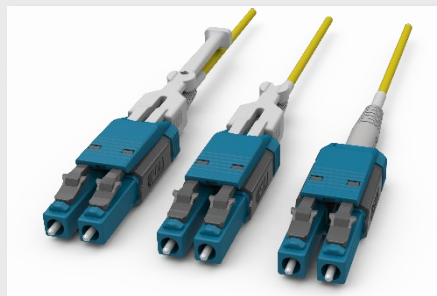
2024年3月期

2025年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

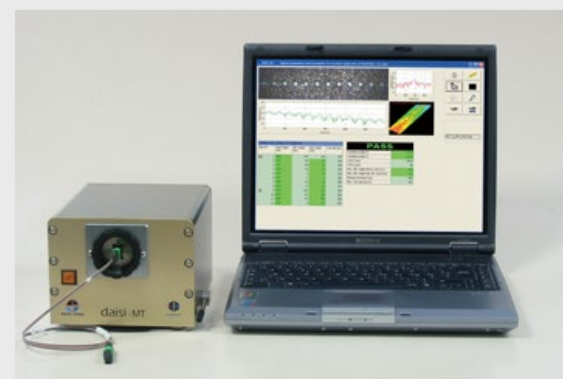
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



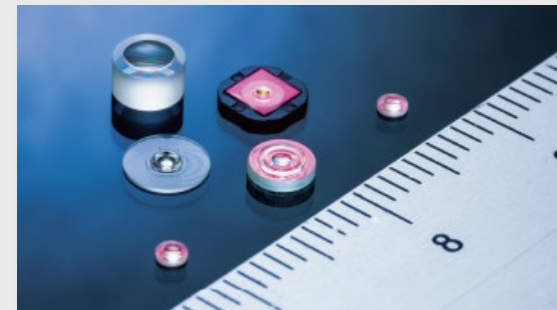
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

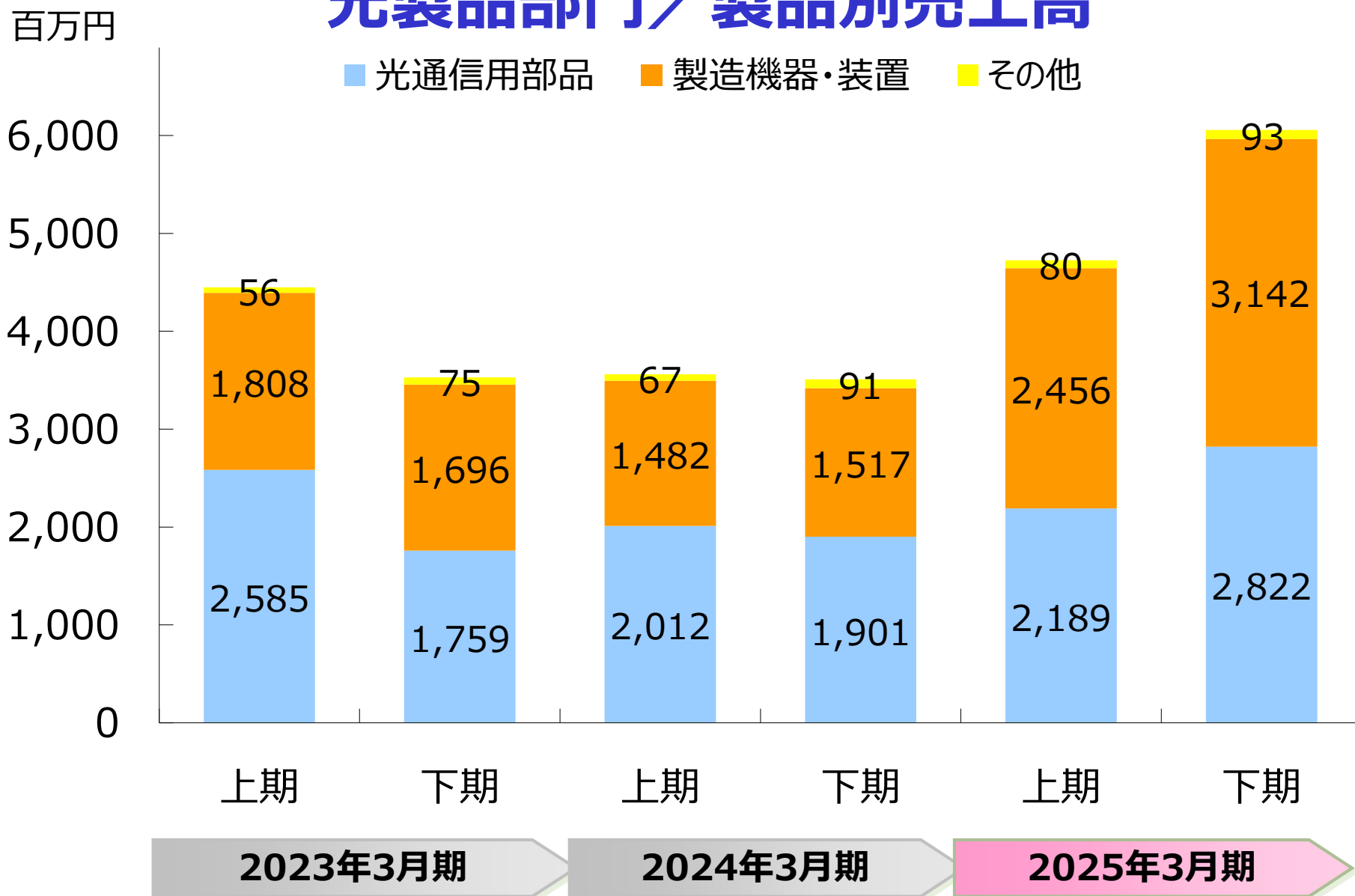
超小型レンズ 等



光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2025年3月期	2024年3月期	対前期増減率
売上高	10,782	7,069	+52.5%
営業費用	8,553	6,681	+28.0%
営業利益	2,229	388	+474.5%
営業利益率	20.7%	5.5%	+15.2%

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

(百万円)

＜資産の部＞	2025年3月期	2024年3月期	増減額
流動資産	24,042	22,738	+ 1,303
固定資産	10,341	9,487	+853
資産合計	34,383	32,226	+ 2,156
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	4,786	3,425	+1,360
固定負債	1,452	1,614	△162
純資産	28,144	27,186	+ 958
負債純資産合計	34,383	32,226	+ 2,156

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2025年3月期	2024年3月期
営業キャッシュ・フロー	3,068	1,797
投資キャッシュ・フロー	1,046	△1,533
財務キャッシュ・フロー	△2,013	△507
現金増減額	2,254	△127
期首残高	5,065	5,193
期末残高	7,320	5,065

- I. 2025年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗**
- III. 2026年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

中期経営計画
マスタープラン^o2022
(2022年度～2026年度)

長期経営方針

当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**維持継続**に貢献する

- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



基盤技術と貢献領域

情報通信



自動車



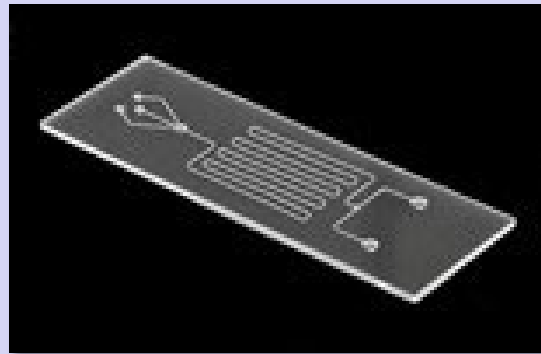
医療・バイオ



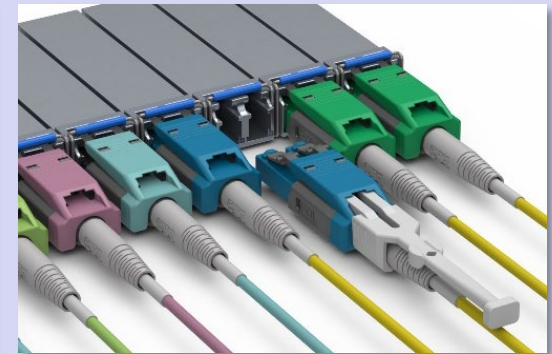
優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術



光学技術



マスタープラン2022 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

2025年3月期 事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

展示会への出展強化



国内外の展示会に **14回出展** 新規顧客との接点を創造

不二電子工業 や DATA PIXEL等、**連結子会社との共同出展も**
データセンター向けの光部品 や **自動製造装置** に注目が集まる

2025年3月期 事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

光コネクタの自動研磨装置をリリース



『SFPS-V1自動研磨装置』

省スペース、多品種、大外径ケーブル対応

研磨パッドの搬送から 研磨作業、
光コネクタの端面洗浄までを機械化することで
顧客の **省人化** と **生産性向上** を実現

初号機を大手の光コネクタメーカーに **納品完了**

2025年3月期 事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

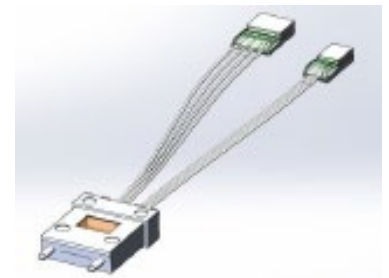
中国蘇州 社との協業スタート

『蘇州安准智能装备有限公司への出資』

杭州精工技研が第三者割当増資を引き受け
615千人民元を出資し、持株比率は27.8%に
自動機製造技術の向上と開発スピードアップを図る

『精工迅捷光電有限公司の設立』

杭州精工技研がAgix社と共同で設立
資本金は10百万人民元 出資比率は51%
高密度接続技術を用いて**次世代光通信部品を開発**



2025年3月期 事業施策

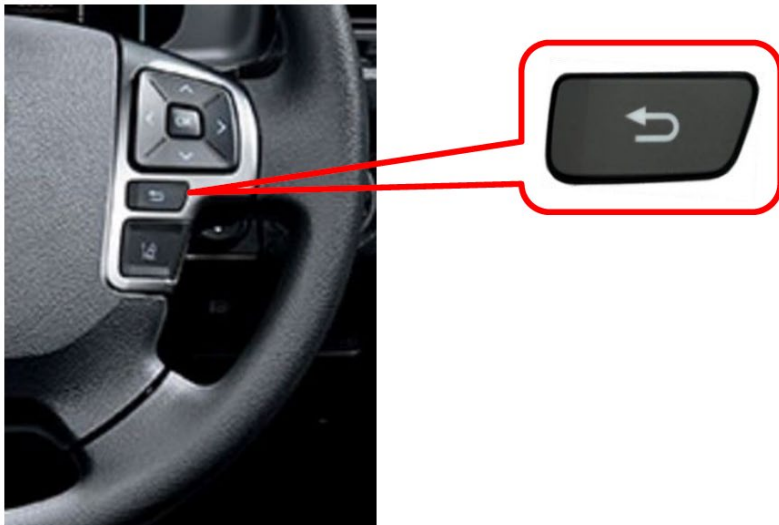
経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

「型内塗装技術」による車載部品の量産開始

株式会社東海理化様と共同で開発した「小型部品向け型内塗装技術」を活用したスイッチが **トヨタ自動車様「ハイエース」**に採用



従来工法品とまったく変わらない
見栄えを実現

塗装工程や乾燥工程を省くことで
CO2排出量を約60%削減可能

型内塗装技術による小型部品の
実用化は **日本初**

2025年3月期 事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持



を連結子会社化

◆ 基本情報（2024年3月期）

主要拠点	宮城 2 工場 山形 1 工場
資本金	100百万円
設立年月日	1970年1月30日
社員数	131名
経営成績	売上高 : 2,341百万円 経常利益 : 574百万円

※ 経営成績は「収益認識に関する会計基準」適用前



自動車や文具等の市場に向けて、プラスチック成形品や
プラスチックマグネット成形品を 24時間生産体制で安定供給
より **幅広い射出成形技術** と **高度な自動成形技術** を獲得

2025年3月期 事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

SEIKOH GIKEN (THAILAND)生産開始



2025年3月より19名体制で光コネクタ付ファイバの生産を開始

今後は現地スタッフを増員してトレーニングを行い、生産品目を増やす

中国、日本、タイの3拠点で光通信用部品を生産 **BCP対応を強化**

2025年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

カーボンニュートラルに向けて



松戸市
「まつど脱炭素社会推進事業所」登録



まつど SDGs キャラバン
認定第 2310044 号



ミニキャブEVの導入、電気効率の良い
空調機器への入れ替え、LED照明の更新等



FY2026に温室効果ガス自社排出量をFY2020比17%削減を目指す
グループ全体で節電対策の強化／省エネ設備への切替を推進

2025年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

人的資本投資／健康経営の推進

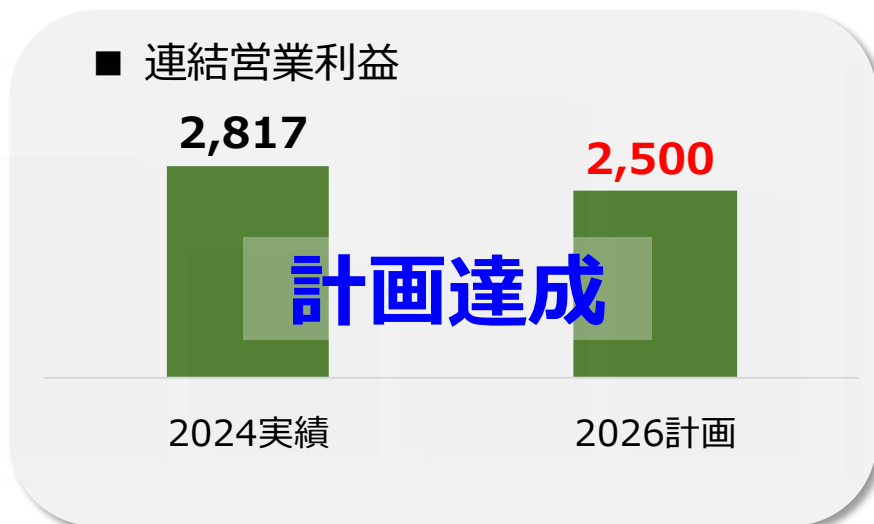
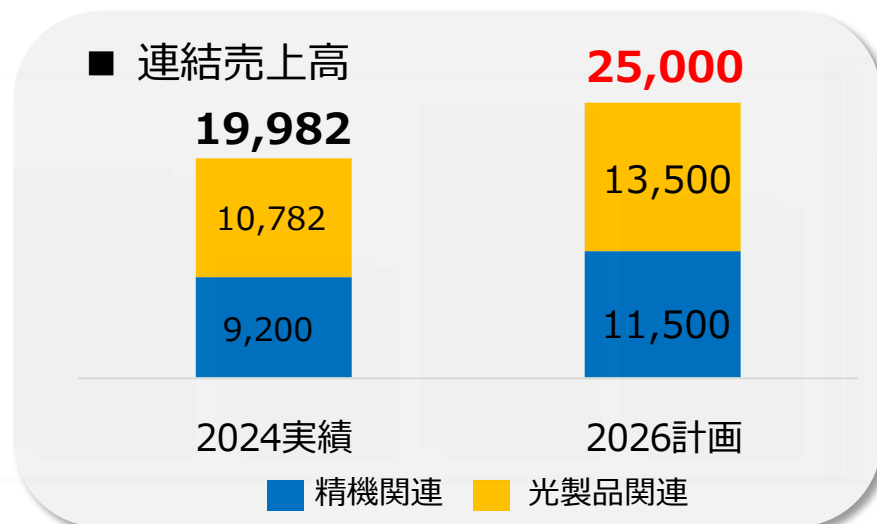


厚生労働省より子育てサポート企業として認定され「くるみん認定」を取得
 健康経営優良法人（中小規模法人部門）更新
 ウォーキングイベントや当社独自の「ポイント制度」により健康を増進

中期経営目標（損益指標）

中期経営目標：売上高250億円、営業利益25億円以上

（単位：百万円）

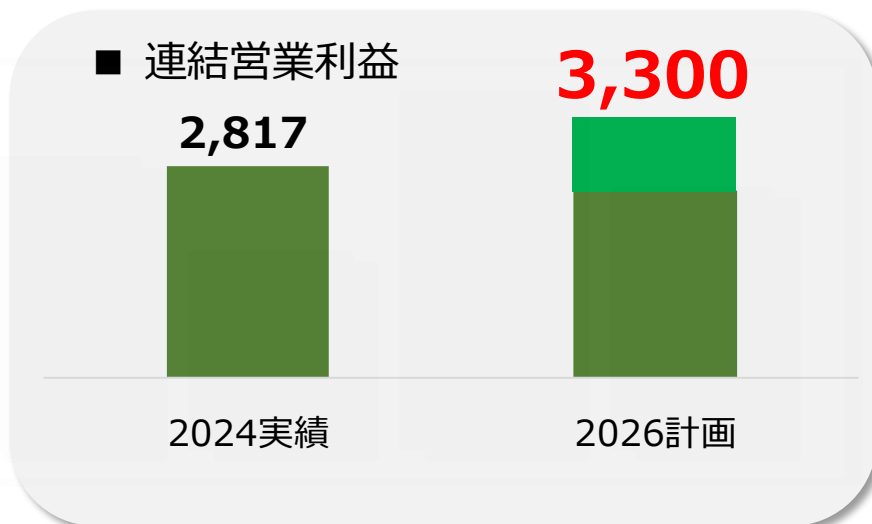
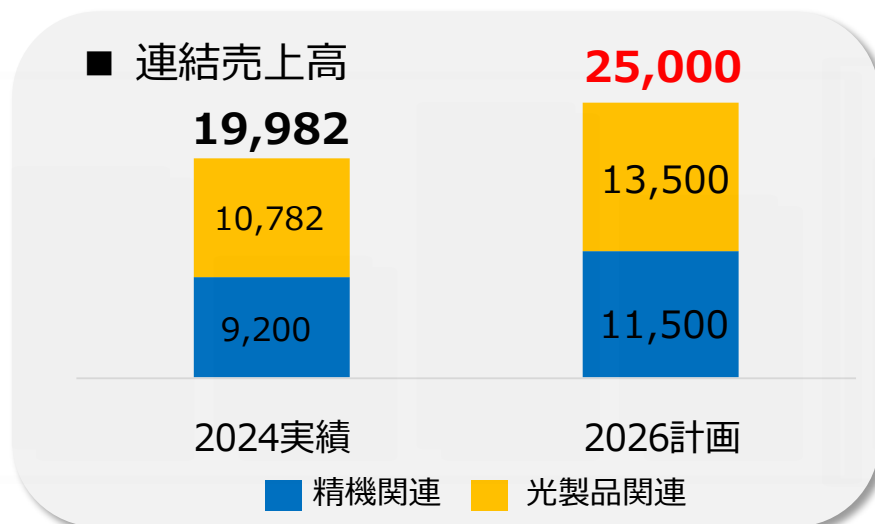


（単位：百万円）	FY2024実績	FY2026計画	FY2024比
精機関連	9,200	11,500	+ 25%
光製品関連	10,782	13,500	+ 25%
連結売上高	19,982	25,000	+ 25%
連結営業利益	2,817	2,500	2年前倒して達成
営業利益率	14.1%	10%	4.1%良化

中期経営目標（損益指標）の修正 SEIKOH GIKEN

連結営業利益25億円以上 ⇒ **33億円以上**に上方修正

(単位：百万円)



(単位：百万円)	FY2024実績	FY2026計画	FY2024比
精機関連	9,200	11,500	+ 25%
光製品関連	10,782	13,500	+ 25%
連結売上高	19,982	25,000	+ 25%
連結営業利益	2,817	3,300	+ 17%
営業利益率	14.1%	13.2%	△0.9%

- I. 2025年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2026年3月期 連結業績見通し**
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

2026年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	26/3月期 見通し	25/3月期 実績
売上高	11,200	10,800	22,000	19,982
営業利益	1,600	1,400	3,000	2,817
経常利益	1,650	1,450	3,100	2,979
当期純利益	1,270	1,030	2,300	2,225
設備投資			1,279	598
減価償却費			1,016	944
研究開発費			512	500

2026年3月期 連結業績見通し（部門別）

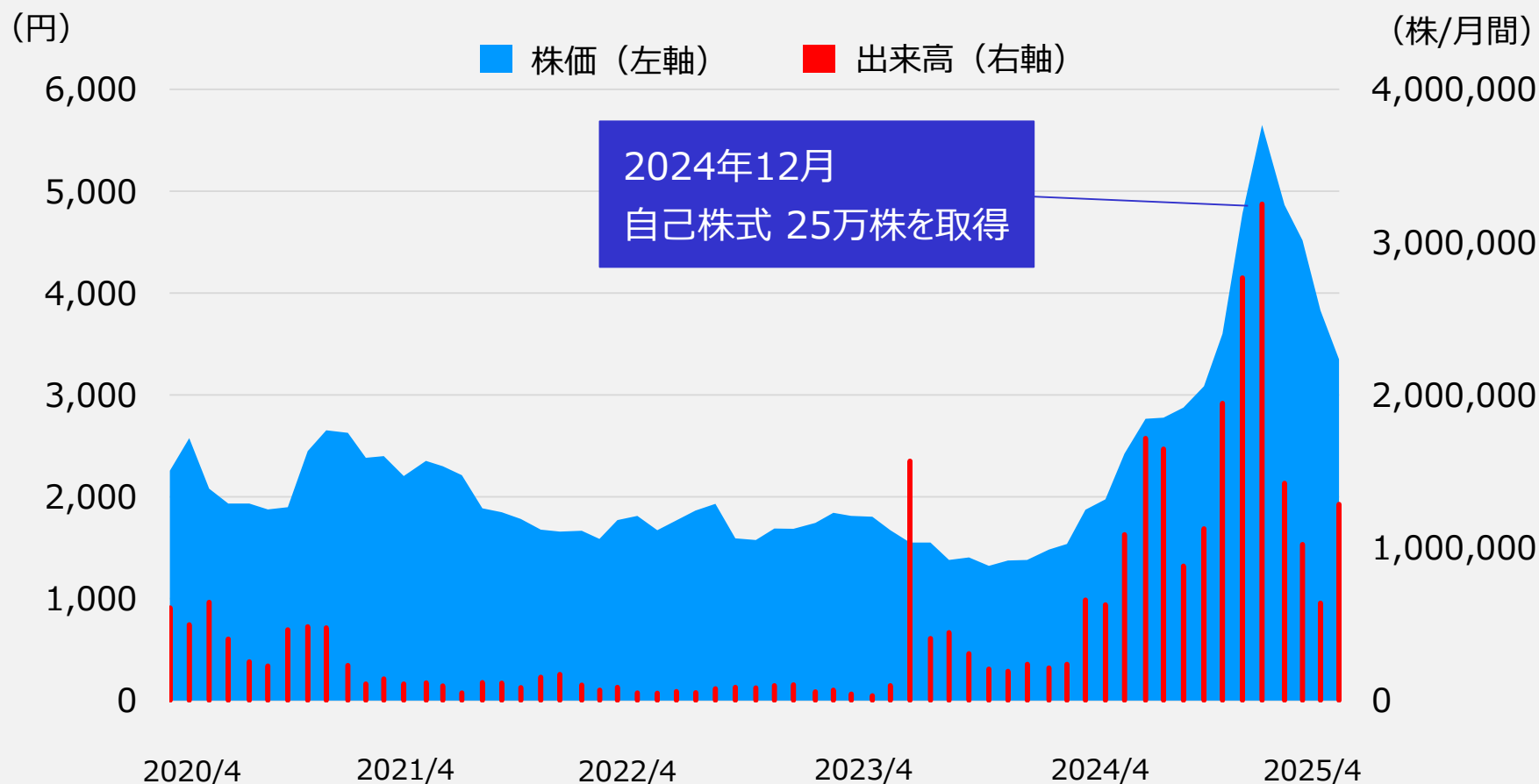
(百万円)				
精機関連	上半期	下半期	26/3月期 見通し	25/3月期 実績
売上高	5,120	5,380	10,500	9,200
営業費用	4,850	4,950	9,800	8,612
営業利益	270	430	700	588
光製品関連				
売上高	6,080	5,420	11,500	10,782
営業費用	4,750	4,450	9,200	8,553
営業利益	1,330	970	2,300	2,229

- I. 2025年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III. 2026年3月期 連結業績見通し
- IV. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

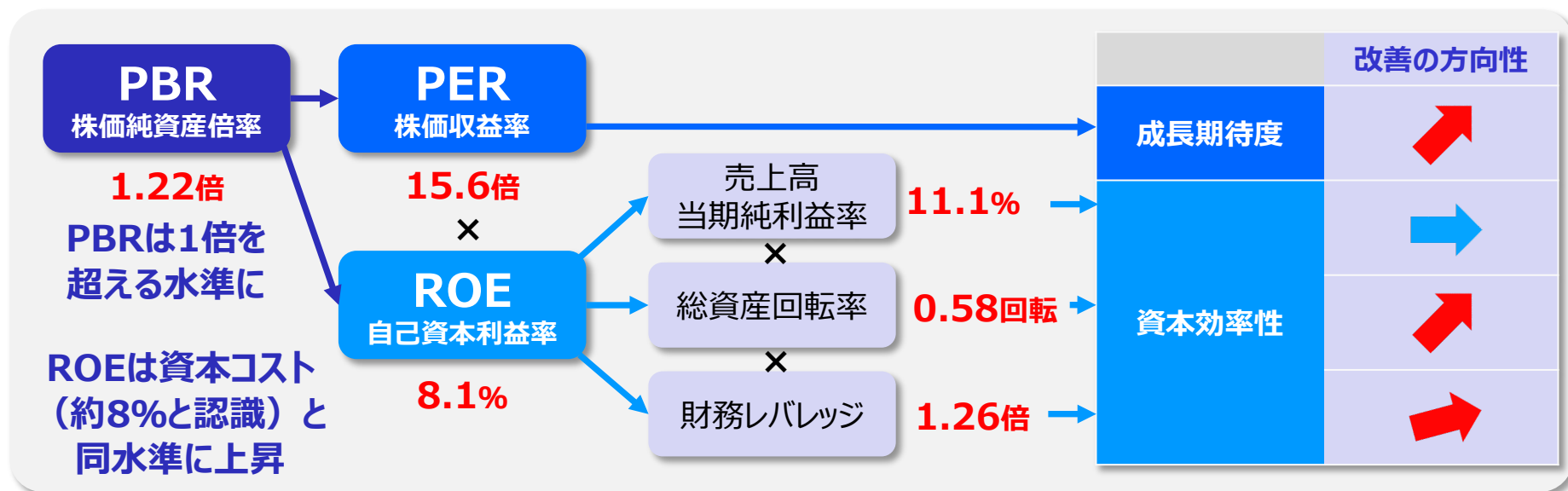
株価の推移

■ 株価/月間出来高 推移

株価は2024年12月に6,000円台を記録するも、足元は3,000円台に
2024年度以降の株価上昇に伴い、出来高も増加



現状分析



指 標	単位	2020	2021	2022	2023	2024
PBR	倍	0.91	0.64	0.63	0.63	1.22
PER	倍	22.3	14.1	15.3	22.5	15.6
ROE	%	4.1	4.6	4.2	2.8	8.1
売上高当期純利益率	%	6.6	7.1	6.7	4.8	11.1
総資産回転率	回転	0.51	0.53	0.52	0.49	0.58
財務レバレッジ	倍	1.20	1.19	1.18	1.19	1.26

企業価値の向上に向けて

中期経営計画マスタートプラン2022の遂行による「事業の成長」を軸に
以下の施策の実施により、中長期的な企業価値向上を実現する

PERの改善 成長期待の醸成	IR・企業広報	・ 機関投資家、個人投資家向けIRの強化 ・ 新聞、業界紙等へのプレスリリース強化
	サステナビリティ (非財務情報)	・ 人的資本投資による人財力の向上 ・ ESG関連情報の開示
	株主還元	・ 配当水準の維持、向上 ・ 機動的な自社株式の取得
ROEの改善 資本効率性の改善 目標ROE 8%～	利益率の維持	・ IT化による業務効率の向上 ・ 自動化による生産効率の向上
	総資産回転率の向上	・ 戦略的M&A、アライアンスの実施 ・ 中期事業計画に基づく事業の成長
	財務レバレッジの向上	・ 投資規模により有利子負債の活用も

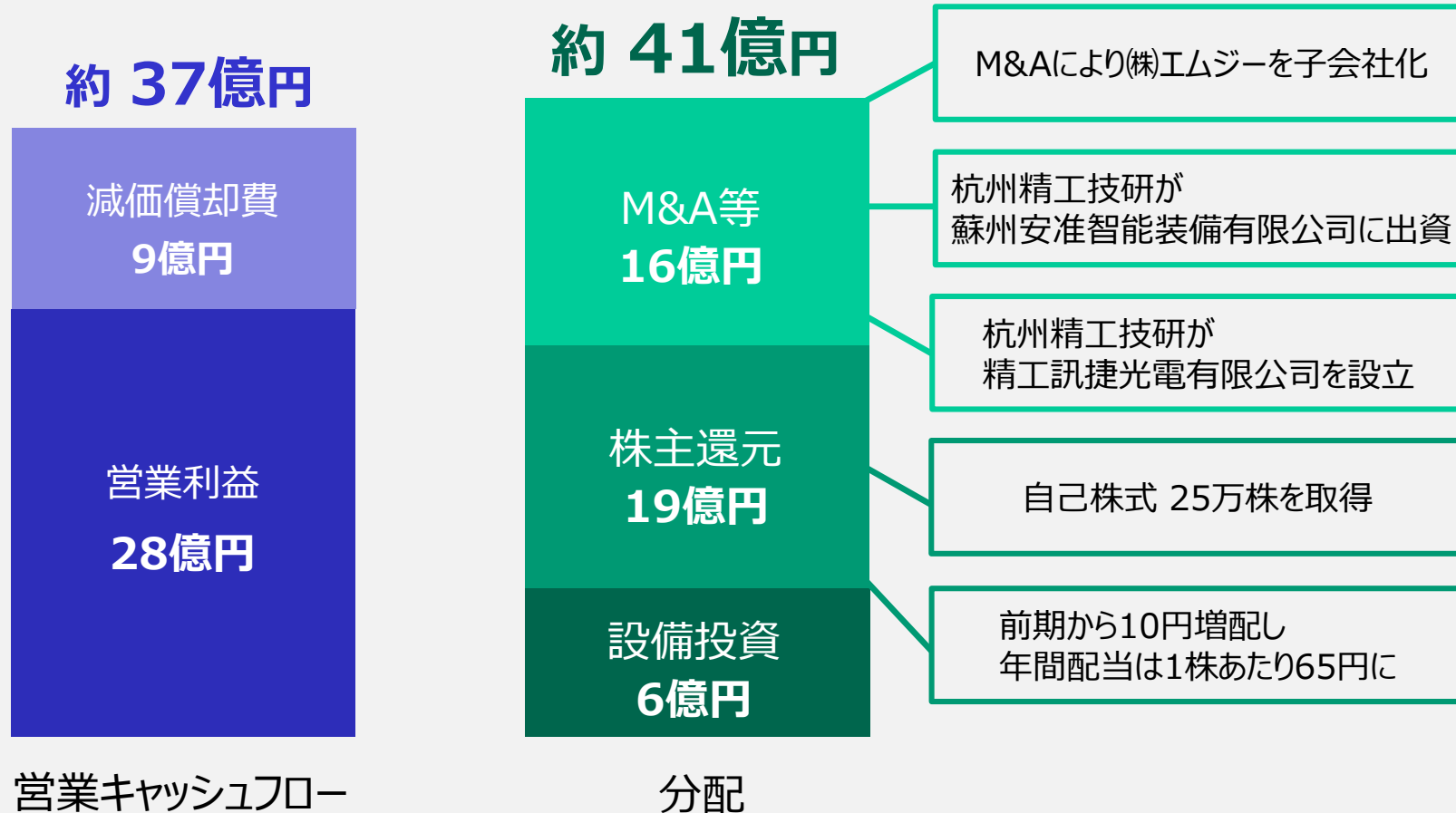
キャピタル・アロケーション

中期経営計画マスタープラン2022の残り2年間（FY2025～FY2026）に創出する
営業キャッシュフローは、M&Aをはじめとする成長投資に積極的に充当し、
資本効率の向上を図る



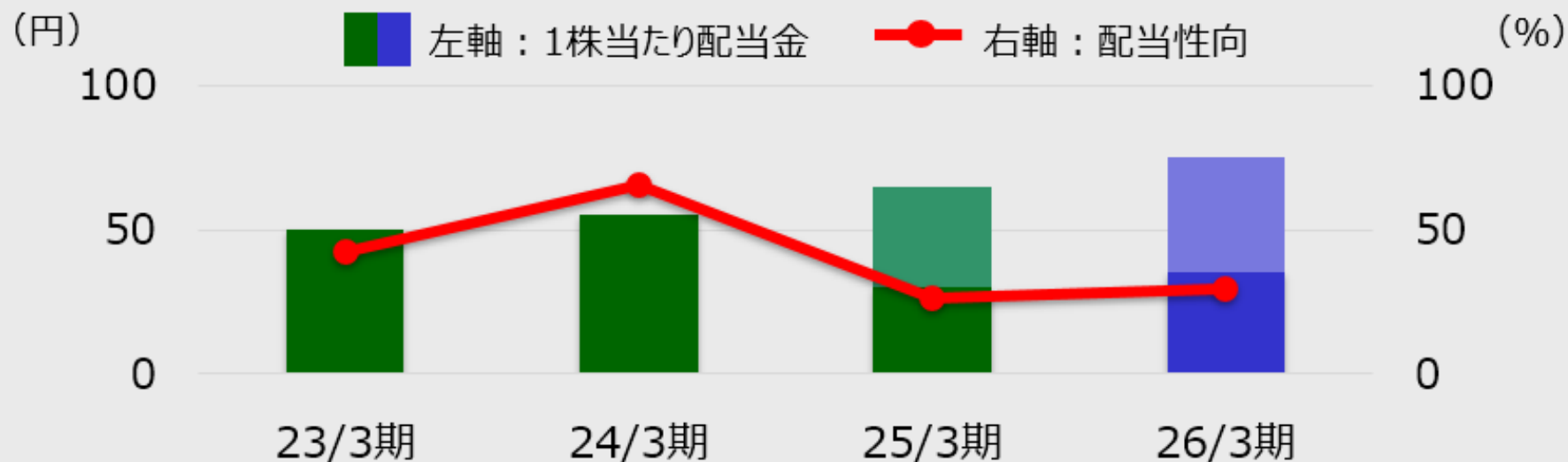
キャピタル・アロケーション

FY2024は、営業キャッシュフローを上回る金額を投資に充当



株主還元

		26/3月期 見通し	25/3月期 予定	24/3月期 実績
親会社株主に帰属 する当期純利益	百万円	2,300	2,225	761
1株当たり配当金	円	中間 35 期末 40 75	中間 30 期末 35 65	55
配当性向	%	29.6	26.5	65.9

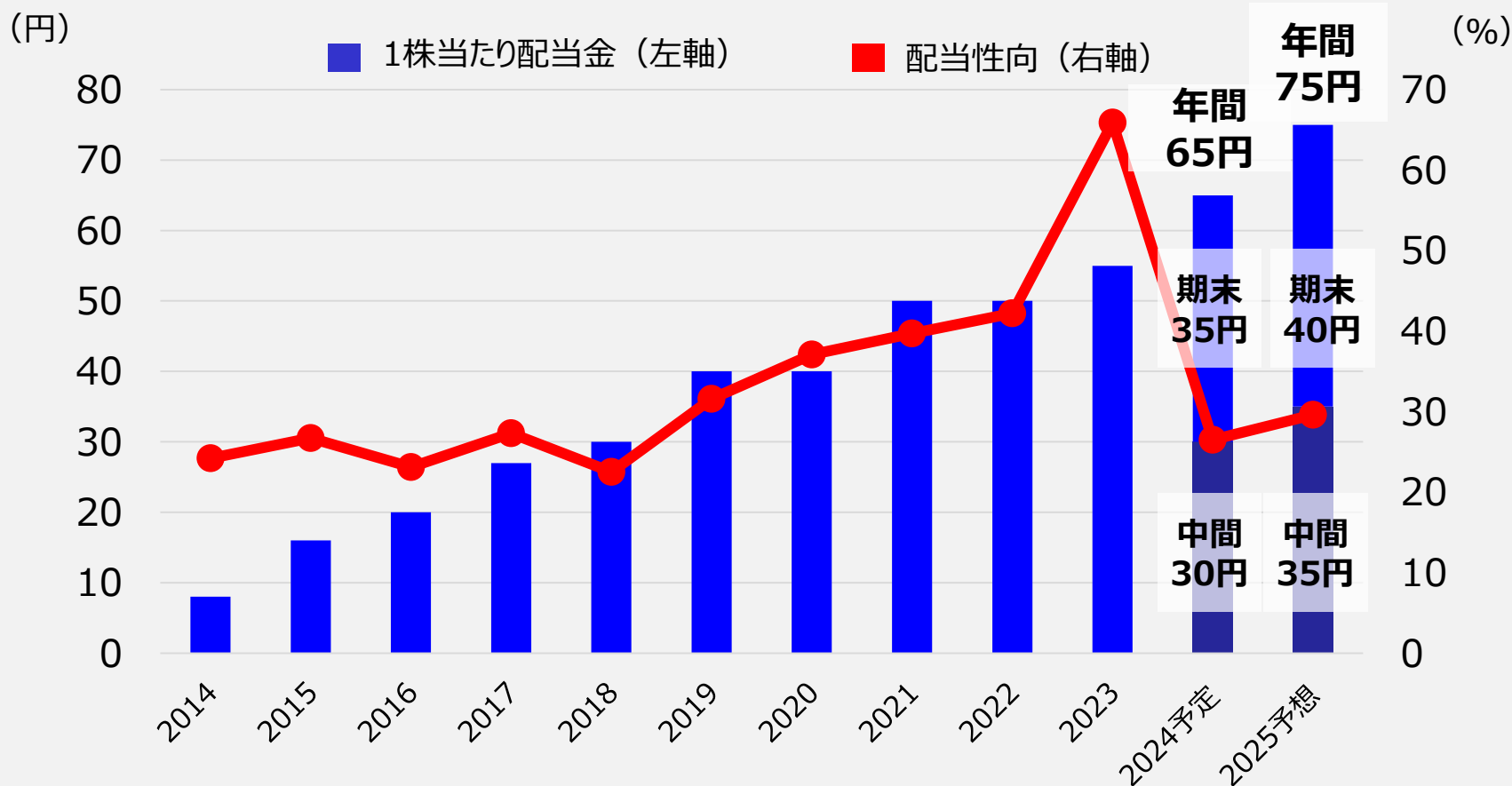


株主還元

■ 1株当たり配当金の推移

過去10年以上、配当金は安定して増加

配当金の水準は今後も安定的に維持・向上させていく方針



ご清聴 ありがとうございます。